

第2回 議会改革調査検討特別委員会記録

日時：令和元年12月2日(月)
12時17分～12時44分
場所：第4委員会室

【出席者】 牛尾委員長、西川副委員長、沖田委員、小川委員、笹田委員、佐々木委員
西田委員、西村委員

【議長団・委員外議員】

【事務局】 古森局長、篠原書記、新開係長

議題

1 特別委員会の名称変更及び調査事項の追加について

資料 1

2 前委員会からの引継ぎ検討項目の確認と今後の検討項目について

資料 2

資料2に記載の2(会派代表質問のあり方)と12(議員定数のあり方)について、優先的に調査検討する。

3 その他

次回

議員定数について

- (1) 前回の議論経過
- (2) 山陰12市の状況
- (3) 類似団体の状況

を示す。

○次回開催 12月 24日(火) 10時 00分 第4委員会室

【詳細は会議録のとおり】

【会議録】

(開議 12 時 17 分)

牛尾委員長 第 2 回議会改革調査検討特別委員会を開会する。議題に沿って進める。

議題 1 特別委員会の名称変更及び調査事項の追加について

牛尾委員長	事務局から説明をお願いする。
篠原次長	(以下、資料 1 をもとに説明)
牛尾委員長	「改革」の後に「推進」が入るのか。
篠原次長	はい、今まで「調査検討」だったのだが、それを「推進」としている。ちなみにこの名称は、平成 23 年 12 月議会で設置された特別委員会の名称と同じにしている。
牛尾委員長	そのように議会運営委員会の委員長に提案してもらうということでおろしいか。
	(「はい」という声あり)

議題 2 前委員会からの引継ぎ検討項目の確認と今後の検討項目について

牛尾委員長	事務局から説明をお願いする。
篠原次長	(以下、資料 2 をもとに説明)
牛尾委員長	これだけでも 12 あるが、他にやつた方が良いと思うものがあれば、この際ご意見をいただければと思うがどうか。西村委員。
西村委員	個人的には先般の臨時会議であったように、正副議長の任期の問題。常任委員会の任期は 2 年と条例に明確に書いてあるので、それに従って臨時会議を開いて自動的に任期が切れることで新しく委員が決まっていくことになるが、どうも正副議長についてはすっきりしないので、全員が集う場で議論して、2 年なら 2 年という決め方をした方が民主的で良いのではと私は思う。この問題はいつも中間期に出てきて、必ずもやらやとしたものが残る。正副議長の任期問題について 13 番目の議題に上ればと思う。
牛尾委員長	わかった。その他に。笹田委員。
笹田委員	1 番の議員間による自由討議の実施に向けた要領作成について、今日も議長から説明があったように、もうやっていくということも含めて議長が「やってみてまとめを議運でやつた方が良い」と言われたので、これを書いてある以上どうなのかと思ったのだが。この委員会から完全に議運に振るということでもし取りまとめができるなら、2 つで議論する必要はないと思う。委員長の方で。
牛尾委員長	この間の議運でも、これどうするかということになって。自由討議は議会運営の部分だろうということで、議運でやっていただくということで大方了解いただいているので、1 番は言われるよう消して議運へお任せしよう。

西川副委員長
牛尾委員長

佐々木委員

牛尾委員長
小川委員

佐々木委員
笹田委員

他に。

1点ほど私から良いだろうか。

牛尾委員長。

西脇市などもそうだが、我々議員が一般質問で執行部とやりとりしながら、例えばこういう案件については注視すべき提案なので是非検討したいと執行部が答弁するとする、それが1年経過した時に、議員提案の政策が実現したかどうかという検証を是非してみたい。執行部がその場限りで良い返事をしておいて、それで良いのかと。言い方が荒っぽかつたが、議員提案の政策実現の結果というか、重さはあるのだろうが、そういうデータを求めるようなことを議会側もすべきではないかと思っていたのだが、いかがだろうか。佐々木委員。

非常に大事なことだと思う。それによって一般質問を言う側の内容精査にもなる。もっと言うと、執行部が議員を立てるような答弁ができないくなる。これは難しいとか、それはなかなかというようなことを、本当は言いたいけどなかなか言えない。それが割と言いやしやすくなってくるかなと。本当に噛み合った、次へ向けてのステップの議論ができるような事だと思う。一般質問のあり方にも含まれるのかもしれないが、大事なことだと思う。

小川委員。

結局、答弁の中で「研究」とか「検討する」とか言うが、結局それから例えば1年経って、あの時こう言ったではないかと言っても、その間ほとんど検討されてないのが実態のような気がする。僕らも具体的な提案をするが、全然執行部側に検討されたような形跡すら見当たらないようなものがある。こちらが政策や提案をしたとしても、それを前提にせざるを得ない。どうせ聞かないのだろう、どうせやる気がないのだろうと。研究しますではい終わり。それでは緊迫感というか、執行部と議員のやり取りを見ている市民も、「研究します」と回答したなら、やらないつもりなのだ、で終わってしまうということは、市議会に対する関心度が薄れてくる可能性がある。検証としてどういう形ができるかは難しいものがあると思うが、意識はした方が良い感じがしている。そうしないとこちらの一般質問の重みが問われてくる気がする。

新たに1つ方法を作るというよりは、一般質問の在り方の部分で一緒に議論したらどうか。

ごもっともなことだと思う。一般質問は僕もやってきて、自分が実現したいようなことは「検討したらどうか」ともう1回一般質問に取り上げたこともある。それだと時間が勿体ないので何かしらルールを決めて、牛尾委員長が言われるように、こういったことを執行部も含めて議論して、こういう回答も是非やって欲しいという所まで、一般質問の在り方でやるべきではないか。検討だ、調査だというのは逃げの言葉にしか聞こえないので、その辺も含めて真摯に受け答えまでしてもらえるように

牛尾委員長

ならないと時間の無駄だと思う。

この件で一番進んでいるのが西脇市。今回一番行きたかった所。だからなるべく早く西脇の日程を押さえて、今年は何とかして行きたい。

先ほど言われるように、執行部も中途半端な答弁はできない。だから1年1年終わって、全議員がこういう提案をしているが、どのくらいの実現度があるのかという、一般質問に対する執行部の姿勢の評価というか、結果をチェックする必要もあるのではないか。

そうすると先ほど佐々木委員が言われたように、何でも分かりましたとは言わないだろうし、精査して答弁するようになるだろう。するとそこで初めて執行部側から反問権や反論権が出てくるのかなと。それならこちらもそれにかぶせて色々なことが言える。そういう議論がどんどん噛み合っていくような一般質問劇場ができるのではないか。

執行部と議員とのやりとりを更に精査するという目的もあるのだが、もう1つは我々議会として、市民のために何をやったかという。議会全体で条例提案とか今やろうとしているが、そういうのではなく個人個人でも、こういう成果を出しているという市民へのアピール材料なので、非常に良いことだ。議員一人ひとりの質問で実現しましたといったことをどこかに掲げれば、市民評価に値するようになると思う。

沖田委員。

8番の委員会と各種団体との意見交換会制度化というのがある。これ私も良いと思う。ただ、これは広報広聴とかぶる所も少しあるのかなと。年2回、報告会と井戸端会をやっているが、これも若干マンネリ化している所もあり、こういうものを取り入れたらどうかという意見が広報広聴側で少し出ている。これは広報広聴でも話をしていただければ。

沖田委員が言われることは良く分かる。ただ、委員会によっては専門的なこと、例えば産業建設がJFやJAに行き水産政策や農業政策で今後どのようにやっていくかという話をする等、お互いキャッチボールできる委員会があるのでないか、広報広聴で出ている話とこれは少し違う。これはある程度そういった所へ出かけて当該委員会が専門的な意見交換をするというイメージの素案である。線引きがどうかということはあるが。

ここは逆に言えば、市によっては形が違う。おでかけ市議会とか、でかけて行ってやるとか、そういう所へつながると思う。貴重なご意見なので、これは十分膨らませて議論していくべき良いと思う。他に。佐々木委員。

この委員会は初めてで知らないで申し訳ないが、今の12項目はこれまで特別委員会で議論されて、そこそこ結論が出つつあるのもあるし、全く手つかずのものもあると思う。せっかく積み上げたものを土台にしなければいけないのでしょうが、それはそれぞれの提案の時にまた示してもらえるのだろうか。

牛尾委員長	今佐々木委員が言わされたのは、例えば会派代表質問の在り方だけやっているとか。途中経過についてはペーパーでまたお配りする。この辺までやっていると。そうしないと、議論が戻っても困る。
篠原次長	資料があまりに雑で申し訳ない。本当は言わされたように一覧にして、これはここまでやっているとお示ししたかったのだが。
牛尾委員長	今日は名称変更が主な委員会だったので、そこまで言ってないので申し訳ない。西田委員。
西田委員	会派代表質問は今まで議論をやってきたが、これも差し当たり3月議会までに一定の形を持っていくかどうかは、この委員会で仕上げておかないといけない気がするのだが。
牛尾委員長	今年は議会改革でも議運でも視察をして、特に福知山市議会あたりは代表質問は会派代表者が事前に集まって、取り上げる内容を調整して行っている。会派によって棲み分けするからぶつからない。それが良いのかどうかも含めて。例えば重要案件なら各派代表がぶつかっても良いだろとか、その辺の議論を、事例を参考にしながら浜田市議会がどうすれば良いか議論していきたいと思う。それは急がなければいけない、できれば3月から導入したい。先に急がなければいけない検討項目はやって、積極的にやれば良いのではと思う。
	今日は名称変更が主な議題で、あまり深い議論をする準備はしていない。
	この程度でよろしいか。
	(「はい」という声あり)
篠原次長	次長から何かあれば。
	2番の後段の、今後の検討項目についてという所で優先順位的には先ほど西田委員が言わされたように、差し向き3月議会があるので、2番目の会派代表質問の在り方については早速検討させていただくということよいか。
	名称も変更するので、議員定数の在り方についても早速するということよいか。
牛尾委員長	はい。4月からは正副委員長の報酬も上がる予定なので、名実ともに正副委員長は汗をかかねばいけない。今まででは資料の用意を事務局に依頼するばかりだったが、それだけではいけないと思う。正副も事務方と一緒にになってどういう資料を用意すれば良いかも含めて。
	とりあえず議員定数については、例えば県下8市、それと類団の資料は最低でも用意しようと思う。その他にこういうものがあれば良いというのは、また次回に言ってもらえれば。もしくはどこかで思いつかれたら次長に「こういう資料も欲しい」と言ってもらえれば。今日すぐというわけにいかないだろうから、もしあればだが。篠田委員。
篠田委員	前回も議論しているので、前回の議論内容等も含めてお示ししたらいかがか。

牛尾委員長	前回は定数については取り上げていない。前々回に変わった。では、本日のところは以上でよろしいか。 (「はい」という声あり)
議題3 次回の開催日程について	
牛尾委員長	今年中にもう1回やらねばと思うが。
篠原次長	はい、できれば議員定数の関係は1回やらせていただき、委員長が言われたような類団のデータ等もお示ししたり、前回の議論がどうだったかも一応確認していただいてから年始を迎え、来年から本格的にやるのが良いかと思っている。
牛尾委員長	本会議終了から日を空けた方が良いだろうか。
篠原次長	事務局としては23日の週でお願いしたいと思うのだが。
牛尾委員長	23日が午前中総務委員会の給食体験で、昼から広域の議会が1時半から5時まであるので、24日、25日あたりはどうか。 (以下、日程調整)
牛尾委員長	では第3回は24日(火)の午前10時に決定してよろしいか。 (「はい」という声あり)
牛尾委員長	以上で終了する。

(閉議 12時44分)

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

議会改革調査検討特別委員会 委員長 牛尾 昭 印